



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
■会長：富川 悟 ■副会長：小西敏文 幹事：植村将史



ブラックバス釣り 山中会員

1492回例会

<会長報告>

先程情報委員長の方から、出席の重要性についていろいろお話を頂きました。今年、「出席率を上げよう！」ということで、第一番の目標としてあげさせて頂いております。今一度皆さんによくお考え頂きまして、向上するようによろしくご協力をお願いしたいと思います。

それでは、報告に移ります。まず一点目は、県下鷺尾の会（北部7クラブ）の第二回会長・幹事会が先週土曜日に、私共奈良大宮ロータリークラブのホストで開催されました。平城遷都1300年祭というのは既に始まっておりますが、メインイベントというのは4月23日から11月7日までの200日間（半年間）ですが、この期間に我々ロータリアンとして、何か参加するという事ができないか、についての協議がその時の代表的重要議題でございました。その結果、この半年の期間中、20回日を設けまして県下13クラブで、あとの7日間は他地区のロータリークラブが中心となり、会場に赴き、クラブ主催で例会などのいろいろな催しを開催し、参加する事によって、ロータリーとして1300年祭を盛り上げようじゃないか、ということがまとまりまして、北部7クラブでは了解して頂きました。これは、奈良大宮ロータリークラブが提案したプランですが、快く了解して頂きました。現在、クラブでいろいろな企画を考えてもらっているところです。私共奈良大宮ロータリークラブと致しましては、起案したということで、最初に何かイベントをやろうと企画しております。細部に渡ってはまだ決まっておりませんが、本日の理事会で、日程等を決めさせて頂きました。5月15日（土）～16日（日）にかけて、私共のクラブと家族、また友好クラブであります東京恵比寿ロータリークラブ、太宰府ロータリークラブをお招きして、合同で例会をして、イベントに参加しようということが決まりました。先程言い忘れましたが、ロータリークラブのプランにつきましては、奈良文化財研究所の非常に積極的な協力を頂きまして、1300年祭の会場には、我々が例会などをするような所がないのですが、隣接する所に奈良文化財研究所の講堂や会議室がありまして、そこをロータリークラブに優先的に20日間貸して頂けます。その会場で、先程言いました日程で、合同例会、それから奈良文化財研究所の研究員の皆さんの講義、平城京にまつわる講演をさせて頂く、その他にも色々なイベント・企画を考えていきたいと思っております。詳細についてはまだ今のところ決っておりません。本日の例会後、友好委員を通じて、友好クラブに速やかに連絡、要請をして頂くということです。その他に、報告事項で、奈良東ロータリークラブが今年の9月（次年度）22日に創立20周年の記念式典を行うようです。場所等は未定です。また、5月18日に奈良クラブのホストによりまして、鷺尾の会ゴルフコンペを奈良柳生C.C.で開催します。1クラブ10名以上の参加をお願いしたい、ということです。平城京ロータリークラブが25周年記念式典のお礼、奈良西ロータリークラブが創立40周年記念例会での祝電に対するお礼がございました。

▼次項へつづく

発行日 / 2010年2月9日
2009-2010 / 29

Vol.31

No. 1494

HP : <http://naraomiya-rc.jp>
E-mail : info@naraomiya-rc.jp



育てよう、人。

2009～10年度
第2650地区のテーマ
『育てよう人』

国際ロータリー第2650地区
ガバナー 富田謙三



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第28回 2月9日
通算1493回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
「四つのテスト」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 国際ロータリー第2650地区
国際交流委員会 委員長
中窪 啓司 氏(平城京RC)
「国際交流でロータリー人生を
楽しもう」
6. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第28回 1月26日
通算1493回

R.C.は出席から 1493回

- 会員数 69名
- 出席免除者数 21名
- 出席者数 51名
- 補填者数 -
- 出席率 82.2%

1491回の修正

- 会員数 69名
- 出席免除者数 21名
- 出席者数 51名
- 補填者数 6名
- 出席率 95.0%

それと先程理事会の中で、4月13日に東京恵比寿ロータリークラブに私共の方から訪問することが決まりました。それにつきましては、(本日お休みですが)佐川会員に(交換卓話ということで)卓話をして頂くことになっております。その日は、我々の通常の例会はお花見例会の為の振替休日になります。来週から参加者の募集を行います。回覧させて頂きますので、よろしく願います。

それと、先週からハイチ地震義援金の募金箱を回しております。我々のクラブとしては一人最低1000円の募金をお願いしております。先週まだ募金されていない方はよろしくご協力をお願いいたします。

それと先程の理事会に於きまして、4月11日にお花見例会を行うことを承認致しまして、4月13日は振替休日となります。

恒例でございますが、北河原会員より「(お水取り)修二会行法に参籠致します」ということで休会の願いが出ております。これは例年通り取り扱いさせて頂きたいと思っております。

委員会報告

高野社会奉仕委員長

先程会長から詳細はご報告頂きましたが、平城遷都1300年祭を記念いたしまして私共ロータリークラブもいろいろと協力的な事業を行っていきたくと考えております。当クラブにおきましては、家族、それから友好クラブの皆様にお集まり頂いて大々的に例会を行いたいと思っております。全20回中13回は当クラブの社会奉仕委員会が情報センターとなり、県下他12クラブ、奈文研、1300年協会の窓口となって、色々と事業をやっていく必要があります。私共委員会だけではなかなか対応できないこともあるかと思っておりますので、ご協力よろしく願います。

西口職業奉仕副委員長

職業奉仕委員会からお願いです。先月の例会の時から状差しにアンケートのお願いを入れさせて頂いておまして、皆さんの自由な職業奉仕観を書いて頂くということで、ベテランの方々もまだ若い方々も、いま自分が思う職業奉仕観を書いて頂いて見比べる、或いは何年か後に「こうだったな」と思う、そのような冊子の作成を考えております。500字程度でお願いしております。2月中に回収させて頂きたいと思っておりますので、また各委員会メンバーがお声掛けさせて頂きます。どうぞよろしく願います。

谷川会報・IT委員長

先週も案内させて頂きましたパソコン教室について。

- ・☒2月25日・・・エクセル初級コース
- ・☒3月11日・・・エクセル応用コース
- ・☒3月18日・・・

3日間全て参加できなくても可。

回覧を回しますので、是非多数の方のご出席をお願いいたします。

増井親睦委員長

4月11日のお花見例会について。

現地集合。16:30現地発の海上バスに乗り、約1時間のクルーズ。

その後、帝国ホテルでの懇親会。懇親会の席上ではクレープの実演等いろいろなイベントを企画中。

会費は会員:5,000円、ご家族:3,000円(前半に頑張りました分ご奉仕致します)

是非皆様家族でご参加お願いします。

高野会員より

私が新入会員の時に「囲碁が好きだ」と申し上げたかと思っておりますが、ついに「囲碁の会」を立ち上げる事になりました。

発起人:飯田会員、中村会員、森下会員、潮田会員、高野会員の5名。

スケジュール:毎月第二・第四例会後。

例会場前のロビーにて。

(奈良ホテルさんのご協力により、場所、碁盤、碁石をお借りして気楽にさせて頂きます)

会費:無料、初心者も大歓迎。来週例会後より開始予定。ご興味ある方は是非ご参加下さい。(状差しにご案内させて頂きます)

幹事報告

休会の確認。

- ・☒3月9日
 - ・☒4月13日・・・4月11日お花見例会振替の為
 - ・☒5月18日・・・5月15日平城遷都1300年祭に於ける現地での例会の振替の為
- ※5月18日は鴉尾の会ゴルフコンペがあります。奮ってご参加下さい。

 本日計 37,000円 累計 1,681,000円

- 麴谷 静 君** 昨日、2月1日に小路谷写真館は、76回目の創業記念日を迎えました。時節柄、OBの方、現役社員の有志で質素に祝います。自祝してニコニコ。北河原様、橋本様、インド・スリランカでは楽しい日々をありがとうございました。
- 北河原公敬 君** 麴谷様、橋本様、インド・スリランカ旅行にご一緒いただきありがとうございました。皆様のご協力により無事行程を終えることが出来ました。愚息に激励を賜り感謝致しております。
- 小西 敏文 君** 今年もよろしく!
- 金星 昇 君** ニコニコに協力!!
- 橋本 和典 君** 仏教の発祥の地インド・ブッダカヤを訪れ、貴重な体験をしてきました。現地駐在の3人の若き日本人僧侶の皆様の仏に仕えるお姿に心打たれました。どうかこれからもお元気で御活躍下さい。北河原様、本当に有難うございました。
- 中村 信清 君** 2月7日より菅原天満宮に於いて盆梅展を開きます(3月7日迄)。招待券は受付にございます。又、76歳にして初孫が出来ました。母子共に健康、うれしい限りです。
- 潮田 悦男 君** WCSのキラバスミッションより無事帰ってまいりました。教育支援物資を支援して下さいました会員各位にお礼申し上げます。
- 森下 泰行 君** ニコニコに協力。

▼次項へつづく

キリバス・ミッション

国際ロータリー第2650地区 WCS委員 潮田 悦男（国際奉仕委員長）



本日は、クラブ討論会ということになっておりますが、2650地区のWCS委員としてキリバス・ミッションに参加してまいりましたので、そのことについて簡単にお話させていただきます。

キリバスというのは赤道直下の国で、関空からグアム島を経由しフィジーへ行ってそこからキリバスに入るのです。しかし「キリバス・ミッション」と言っていますが、今回、実はキリバスには行けなかったのです。

グアム島でのトランジットの際、先発隊（2650地区の会員2名、添乗員1名、WHO係員、JICA係員）から、「大雨で滑走路が陥没し、飛行機が飛ばない」と連絡がありました。先発隊会員の一人が建築会社の方で、WHOの職員も含めて復旧工事を手伝ったそうですが、異常天候で雨がさらに降り続いたこともあり、時間切れになりました。空港の近くに、日本の「大日本土木」という会社がODAで道や橋を建設しているのですが、それはビクともしていなかったようです。

「大日本土木」というところがいかに素晴らしい仕事をして、現地の人に感謝されているかが、橋の近くの小学校が「Dainippon小学校」という名前になっていることからわかるとおもいます。キリバスは、さきの大戦で日本兵（朝鮮軍属も含めて）4,500名近くが玉砕し、同時に米国も2,000名以上の戦死者を出した大激戦地ですが、ちょうどそのDainippon小学校の横に日本の戦没者の慰霊碑があります。

フィジーで足止めされる中、現地のテレビでその事が取り上げられたそうです。「昨年日本からフィジーに沢山の援助物資を持って、ワクチン投与や援助をしに来たロータリーの団体が、今年キリバスに行こうとして、災害の為フィジーに足止めを食らっている」ということで、テレビニュースに出たそうです。私はそれらを見ませんでした。町を歩いているときに現地の人に「テレビでみましたよ。たいへんですね」と言われ、非常に注目されているんだな、と思いました。毎年このミッションは何らかのトラブルに見舞われるようで、今年は（悪天候で）飛行機が飛ばず、去年は飛行機が事故を起こして団体の一部のメンバーが離島に取り残されました。

ODA等でもそうですが、なにか箱モノを作ったり、事業を行った場合、その後でメンテナンスやフォローを行わなければなりませんので、今回のミッションに参加された岡村パストガバナー、団長の橋本パストガバナー、それに数人のメンバーが、昨年の焼却炉設置を行ったフィジーの離島に再度飛んで、検証してこられました。実は一年経って、焼却炉が酷使されていたので、部品をもっと堅牢なものに付け替えたという話を聞いております。

それでは簡単に（写真を見て頂きながら）説明したいと思います。

基本的なことになりますが、今月は国際奉仕月間ということで、国際奉仕活動とは国際奉仕委員会が取り扱わなければならない活動ですが、漏れはありますが、主として留学生の受け入れ（米山や財団など）、GSE、地区での国際関係の催し物への協力・参加（今年は奈良女子大学における、留学生による言論大会への審査員としての参加など）、年次国際大会への参加、外国姉妹クラブとの交流、世界社会奉仕への参加、等々です。このような活動を行うことが国際奉仕委員会の活動だと思えます。

WCSの活動は主としてポリオ生ワクチン投与の実践ですが、ポリオワクチン投与とロータリークラブの歴史は、1979年に国際ロータリーとフィリピン政府が共同でポリオのワクチン投与を行った事が最初です。約30年前です。1985年にポリオ・プラス（ポリオとその他の感染症）のワクチン接種が開始され、2000年に西太平洋地域へのポリオ根絶を宣言。2006年にポリオ発生国が歴史上最小限（アフガニスタン、インド、パキスタン、ナイジェリアの4か国）になりました。地球上にポリオがなくなるまで、ワクチン投与が必要です。日本でも満一歳になったすべての子供さんにポリオ生ワクチンの投与をしています。

2650地区の世界社会奉仕はカンボジアから始まり、西太平洋地域に重点が移っております。パプアニューギニアなど、第二次世界大戦後、2650地区のロータリアンが日本人として初めて入った、という地域もあります。

一般にフィジーやキリバスなどの開発途上国では子沢山で、夫婦の間に大体3～4人の子供がいます。しかし、昨年、今年とポリオワクチン投与のミッションをおこなったフィジーやキリバスでも、最近はシングルマザーが増え、非常に問題になっております。夫婦の場合は（そこに定住しているため）ワクチン投与後も経過を追いやすいのですが、シングルマザーの場合はお金のこともあり、ワクチン投与の記録に載らないことも多く、追跡が難しいのです。☒

メンバーの先発隊しか、今回はキリバスにはいけませんでした。先発隊は少人数で、今回キリバスで予定されていたポリオワクチン投与や教育支援活動、日本人慰霊碑への献花などのすべての活動を時間をかけて行ってくれましたし、皆様方からいただいた教育支援物資もキリバスへちゃんと届けることができました。キリバスに飛べなかった残りの後発隊のメンバーは、そのかわり、フィジーでの昨年の活動がうまくいっていることを検証することができましたし、予定外でしたが、昨年に引き続き、フィジーでのポリオワクチン投与をふくむミッションを行うことができ、良かったと思えます。また、フィジーとキリバス、両国に貢献できたことを嬉しく思います。

来年は、WHOはナウルでの活動を希望していると伝えてきているそうです。WCSは、国際奉仕からははずれ、財団の下で活動を継続しますが、興味のある方はまた一緒に参加して下さい。

「ロータリーミニ情報」情報委員長 飯田 二昭

*出席について

ロータリークラブでの出席の重要性については、これまでいろいろな方がいろんな言葉で表現されています。新入会員のオリエンテーションでも、出席のルールの説明は最重要事項の一つです。

本年度クラブの重要目標：「例会出席率を高めよう」

これまで、出席に関して出会った言葉の一部を紹介します。ご存じの方も多いたと思いますが、再確認して頂ければと思います。

緒方先生のインフォメーションの中で、「出席はレコードをつくるためにするのではない、ロータリアンを作るためにするのである」という言葉がありました。味わい深い言葉だと思います。

また、竹川初代会長は、「ロータリークラブは例会によって成り立っている。会員は例会に出席することによって会員であり、例会に100%出席するのは当たり前のことであり、義務である」というこの会長方針により、このクラブは長い間出席率100%を続けて来ました。また、「出席は会員としての最小限の奉仕です。出席なくしてはロータリーの目的は達せられず、ロータリアンではありません。それは出席によってはじめて得られ、奉仕の理想が高められるからです」という言葉もございます。

また、よく使われている言葉は、「出席は義務ではなく、権利である」という言葉もございます。これについて箸尾さんは、「(権利=)特権である」ということもおっしゃいました。「出席は目的ではなく、手段である」という言葉もございます。平成7年、ニースで開催された世界大会に参加しましたが、ビル・ハントレー R. I. 会長のスピーチの中で、「出席のルールに関して、潜在的なロータリアンを恐れさせているのではないか?」という言葉がありました。この言葉は、当時出席の大切さを教え込まれていた者としては、小さな驚きでした。

その年度の規定審議会で、メイクアップの規定が、例会の前後1週間以内から、前後2週間に変更されました。しかし、出席のルールの変更が、必ずしも出席率の改善にはつながらなかったように思います。

昨年11月、IM第4組のロータリー情報委員長連絡会議が開催され(多田副委員長さんが出席)、その際、千玄室パストガバナーは出席について、「出席は最優先すべきである。出席はルールである。出席せずにルールはない」と、出席の重要性について改めて強調されたそうです。出席する事で、初めてロータリーを知ることが出来、出席なくしてロータリーライフを楽しむことは出来ないのではないかと思います。出席について、少しでも出席委員会のお手伝いになれば幸いです。



<私の趣味 -ブラックバス釣り- 山中 一晃

バス釣りをはじめたのは、就職して3年ほど経ち仕事にも慣れた26年前になります。

当時、友人や同僚と「流行のゴルフや草野球」などをやっていたのですが、結婚しても家族(子供)とできるなにかをと考えている時に、父によく連れて行ってもらった「ヘラ釣り」のことを思い出して、ふらっと釣具店に立ち寄ったのがきっかけでした。

店員さんとは、同年代であったこともありよくご一緒させて頂きました。バス釣りは、エサに食いつくのを「待っている釣り」ではなく、場所を移動しながらニセモノのエサに食いつかせる「攻撃的な釣り」で、初めて釣れた時の感覚が忘れられず一瞬にしてバス釣りの虜になってしまいました。

今では3月~11月までの9ヶ月は、バス釣りの聖地「池原ダム・七色ダム」まで通い、月に1度は「バスターナメント」も開催しています。

興味のある方は、是非参加をお待ちしております。(賞金もあります。)

20年前までは、何を投げても釣れるという時代もありました。

しかし、今は必ずしもそうではありません。

「季節、天候、場所、時間、地形、釣り場の状況、使うルアーの種類・・・」いろんな条件を常に考慮しなくては、ブラックバスは釣れなくなっています。前に釣れた場所でも、その日の条件によっては「釣果ゼロ」の時があります。何故だかわかりますでしょうか?

ブラックバスは「賢い魚」だからです。

いつまでも「騙されっぱなし」じゃなく「学習」して子供に伝えているのです。

またそれと同時に、バス釣りはいろいろな条件が重なって、初めて結果の出る釣りなのでとても「綿密な準備と作業が必要な難しい釣り」です。

そんな「賢いブラックバス」にこれからも挑み続けたいと思います。



例会変更

*王寺ロータリークラブ

・2月16日(火) … 2月14日(日)

場所：京都方面に変更。

(親睦例会の為。)

※ビジター受付は

2月16日(火) 12:00~12:30

N T T docomo王寺営業所1F

にて行います。

次週の例会

2月16日 卓話 中澤 静男 氏 奈良市教育委員会・指導主事
テーマ 「世界遺産から未来を」

本日のお客様

平川 泰厚様(京都山城RC)
大橋幸之助様(奈良RC)